

# “ クリーンソフト ” Q & A

## Q 1 : クリーンソフトとは？

A : 歯科医院専売の軟質レジン専用義歯洗浄剤で、一般の義歯洗浄剤では浸されて面が荒れやすいティッシュコンディショナーや軟質リライニング材専用に開発されました。他社酵素系の数十倍の洗浄効果（広島大補綴第2講座）があり、軟質レジんに付着したカンジダ菌などのデンチャープラークや嫌な臭いを強力に除去し、レジンの劣化や口内炎などを予防します。但し、作用が穏やかなので入れ歯やクラスプをいためませんが、反面漂白作用がないため、茶シブやタバコのヤニなどは除去出来ません。

## Q 2 : クリーンソフトの成分は？

A : 酵素、界面活性剤、pH調整剤、発泡剤、色素などです。義歯材料を変色させるような成分は一切含まれていません。

## Q 3 : 色素が沈着して着色が起こるのでは？

A : 水に溶けやすい色素ですので、沈着は起こりにくいと思われます。実際、（この色素の色である）青色に変色したというケースは全く発生していません。

## Q 4 : 酵素の働きは？

A : タンパク質を分解するタイプの酵素です。特に、カンジダ菌などの口内菌の除菌に非常に効果があるため、デンチャープラークの除去に最適です。

## Q 5 : なぜ着色性の汚れが苦手なのか？

A : 漂白剤や過酸化物を一切含んでいないからです。そういう成分は、軟質の義歯裏装材に対して面荒れを起こしやすいので、クリーンソフトには配合していません。

## Q 6 : 着色の原因は？

A : 患者様の食生活、嗜好品、常用薬、日頃のお手入れの様子、口腔内の状況など、さまざまな要因が考えられますが、明確に特定できた例は残念ながらありません。（投薬の影響で金パラ合金が黒く変色したという事例は知られています。）

## Q 7 : 着色を防止するには？

A : 市販の強力な義歯洗浄剤を併用する（週1～2回、1回5分程度にとどめる）方法や、機械的清掃をこまめに行う方法などが挙げられますが、面荒れを起こさないこと、キズをつけないことなどに注意する必要があります。

## Q 8 : 着色を落とすには？

A : 市販の強力な義歯洗浄剤を使用するときれいになる場合がありますが、軟質部分の面荒れに注意する必要があります。また、機械的清掃も有効ですが、軟質部分を清掃する場合は、軟毛のブラシなどを用いて、キズを付けないよう注意深く行う必要があります。

## “ クリーンソフト ” Q & A

Q 9 : クリーンソフトの使用方法は？

A : 入れ歯が完全に浸る量のぬるま湯に、付属のスプーンに軽く 1 杯 (約 1g) のクリーンソフトを加えよくかき混ぜ、入れ歯を入れてください。そのまま一晩放置し洗浄してください。十分な効果が得られるには 2 時間以上の浸漬が必要です。

翌朝、入れ歯は水でよくすすいでからご使用ください。義歯洗浄保存容器『入れ歯ケース』(亀水化学) をご使用いただくと大変便利です。

Q 10 : クリーンソフト洗浄液の白濁は？

A : 冬季など洗浄液の水温が 12 ~ 13℃以下に低下すると、粉末成分が結晶化して析出し、白濁する事があります。(気になる場合は温水浴で洗浄液を 16℃以上にもどしますと、結晶は消失します) できるだけ洗浄剤の酵素活性をうながすためにも、ぬるま湯に溶かすようにしてください。